

# トラック輸送における取引環境・労働時間改善宮城県協議会 令和2年度 of 取組について

---

国土交通省 東北運輸局  
宮城運輸支局  
令和3年3月

# 令和2年度の取組について

## 1. 令和2年度に取組を行った対象輸送分野及び取組事項について

**対象輸送分野:**生鮮食品(品目を「米」とする。)

**取組事項:**米の集出荷場でのパレット化等による効率化及び手荷役の軽減

### 【選定理由】

平成29年7月及び平成30年11月に実施した荷待ち時間実態調査(P5参照)において、昨年度改善に向けたガイドラインに選定された品目(加工食品、建設資材、紙・パルプ)のほか、30分以上の荷待ち時間が生じた件数が多い品目である「生鮮食品」について、従前より手荷役が多いとされる米については宮城県において生産が盛んであり、取り組む必要があると考えられるため。

取組事項については、農林水産省主催の「食品流通合理化検討会」の取組を勘案し、汎用性の高いパレット化による効率化に焦点を当て、効果を検証したい。

## 2. 実施者の概要

**発荷主:**全国農業協同組合連合会 宮城県本部 宮城県内2JA 倉庫等8箇所

**運送事業者:**全農物流 株式会社 東北支社(利用運送事業者)

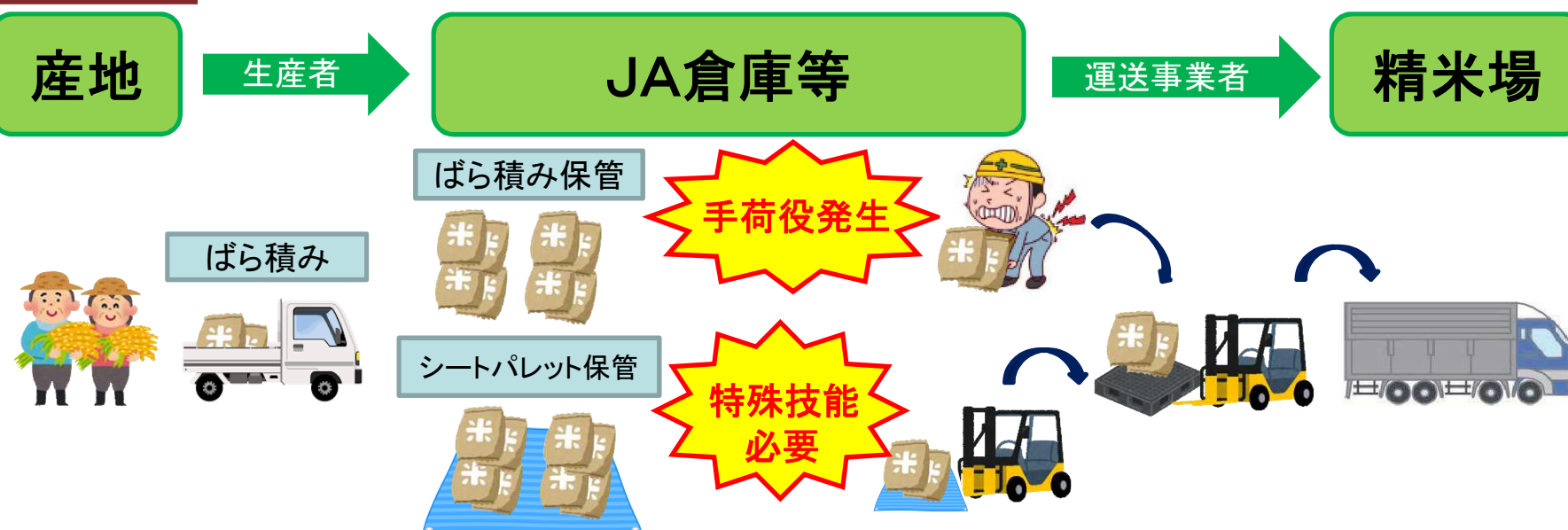
(実運送は全農物流(株)東北支社の輸送協力会社30社程)

**荷種:**米(紙袋のもの)(1袋あたり約30kg)

## 3. 現状の課題

- ① 現状、紙袋はJA倉庫等ではばら積み若しくはシートパレット保管となっているため、出庫の際、プラスチックパレットへの積替え作業が発生している。多くは運転者が手作業で積替えており、最大で2時間程度の時間を要している。加えて、かなりの重労働のため運転者不足も懸念されている。
- ② 現状、JA倉庫等で保管に使用しているシートパレットを利用するにはプッシュプル式のフォークリフトが必要であるが、特殊な技能が必要になるため扱える人材が不足している。

### 取組前

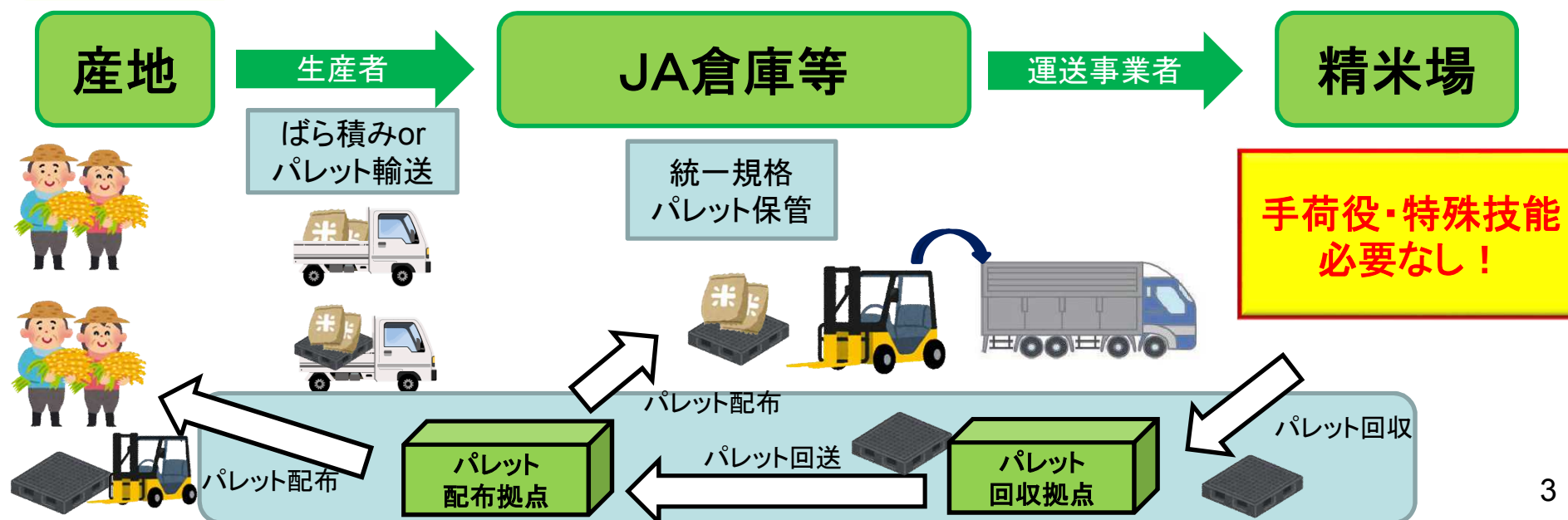


# 令和2年度の取組について

## 4. 取組内容

- ① JA倉庫等からの一貫したパレット輸送による手荷役の軽減(一貫パレチゼーション化)
  - ② レンタルパレットによるパレットの統一規格化
- ⇒ JA倉庫等の保管施設において、統一規格パレットに積付け、保管することで、出庫時の運転者による手荷役の軽減及び荷役作業時間の短縮を図る。また、シートパレットを使用しないため、特殊技能(プッシュプル式)が不要となる。さらにフォークリフトを所有している生産者に対してはレンタルパレットを予め配布し、産地からパレット輸送を行うことで産地から卸先までの一貫したパレット輸送も可能とした。

## 取組後



# 令和2年度の取組について

## 5. 取組結果

- ① JA倉庫等からの一貫したパレット輸送による手荷役の軽減(一貫パレチゼーション化)  
⇒ 従来発生していたJA倉庫等を出庫する際の手荷役での積替えが無くなり、運転者の負担と荷役作業時間が大幅に軽減された。  
【積込み作業時間:平均1.5h程度短縮】
- ② レンタルパレットによるパレットの統一規格化  
⇒ 従来使用していたシートパレットを統一規格パレットに切り替えたことで、フォークリフトの**特殊技能(プッシュプル式)が不要**となり、通常フォークリフト(爪フォーク)のみで作業が可能となった。また、パレット化に伴い、着荷主(卸先)でのパレット保管が問題となることが多々あるが、今回は回収者である全農物流が早期回収に努めることで**着荷主の理解を得ていた**。

## 6. 成功に結びついたポイント／その他

### 【ポイント】

- 発荷主・運送会社双方が積替えにかかる重労働、プッシュプル式のフォークリフトを扱える人材不足等の問題意識を共有し、改善に取り組んだこと。

### 【その他】

- 今回は汎用性の高さからパレット化を取り上げたが、当該実施者は米のフレコン輸送の拡大にも取り組んでおり、物流改善の意識が非常に高く見受けられた。

# 令和2年度の輸送品目別取組強化事業について

第12回トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会及び第11回トラック運送業の生産性向上協議会資料  
(令和2年10月7日)

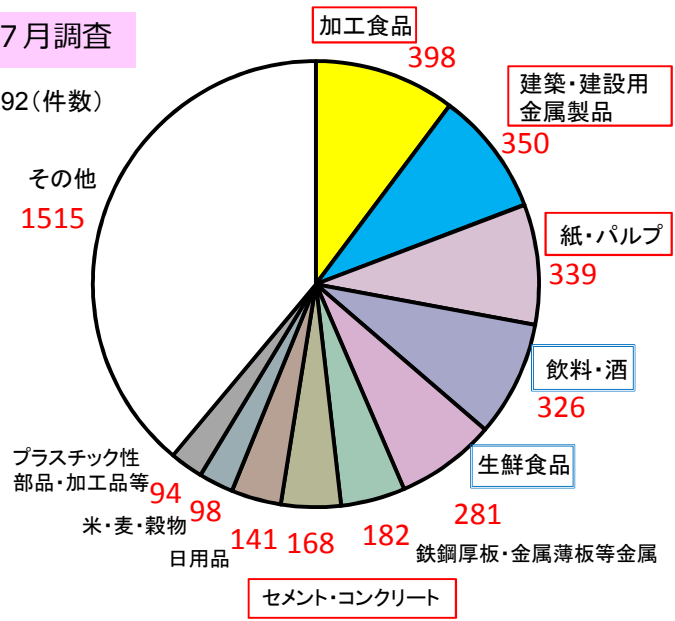
- 平成29年7月に実施した荷待ち時間実態調査において、30分以上の荷待ち時間が生じた件数が多い品目（加工食品、建設資材、紙・パルプ）について懇談会を立ち上げて、課題整理や改善策について検討を行っているところ。
- 平成30年11月に実施した荷待ち時間の実態調査では、すでに懇談会を立ち上げている加工食品、建設資材、紙・パルプの各品目については、依然として30分以上の荷待ち時間が生じた件数が多いことから、引き続き課題解決のための方策について検討・検証を実施する。
- また、上記2度の調査において、荷待ち時間が生じた件数が多かった「生鮮食品」及び「飲料、酒」について、次年度以降の「新たな方策」として懇談会を立ち上げ、課題整理や改善策の検討を実施することとしたい。

30分以上の荷待ち時間が生じた件数(輸送品目別)

  は、既に懇談会を設置している品目  
  は、今後懇談会設置を検討する品目

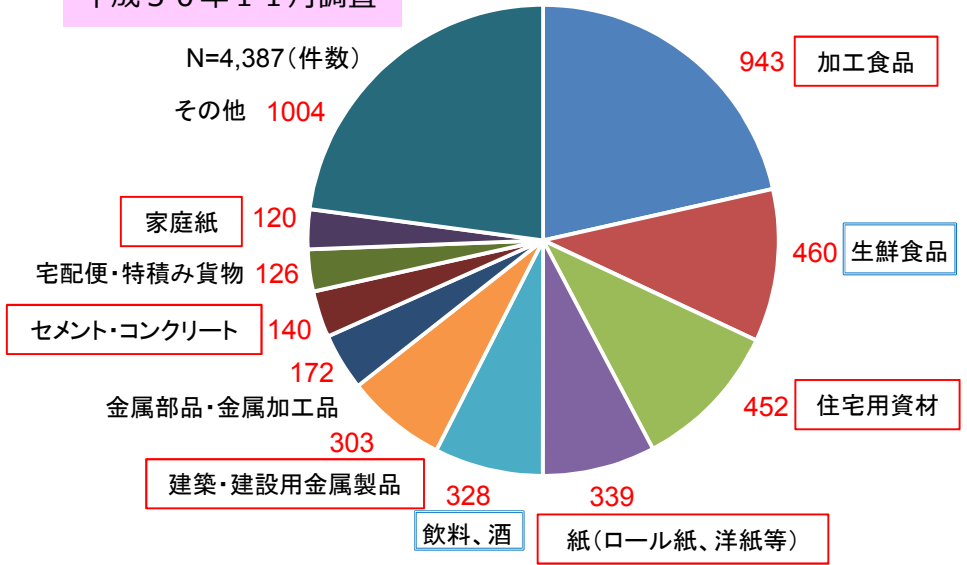
平成29年7月調査

N=3,892(件数)



平成30年11月調査

N=4,387(件数)



## 令和2年度宮城県協議会重点取組事項PDCAシート

### ○生鮮食品の附帯作業の改善

#### ○重点取組事項概要

農林水産省主催の「食品流通合理化検討会」の取組の浸透を図り、米の集出荷場でのパレット化等による効率化及び手荷役の軽減を進め、ドライバーの附帯作業の改善を目指す。

#### ○KPI

[1]「食品流通合理化検討会」の取組の浸透

【パレット化等による附帯作業の見直し実施箇所 米の集出荷場年間8箇所】

[2]附帯作業の改善(パレット化によるもの)

【附帯作業時間 米の集出荷場での積込・積卸時間 それぞれ平均1h～1.5h短縮】

※事務局において、運送事業者及び米の集出荷場管理者に対して、ヒアリング等を実施予定

#### ○重点取組事項の取組状況

・米の販売業である全国農業協同組合連合会及び全農物流株式会社が連携し、「一貫パレチゼーション化」を導入。(資料:令和2年度の取組について4.取組内容①参照)

【KPI】

[1]パレット化等による附帯作業の見直し実施箇所:米の集出荷場8箇所(ヒアリング結果による)

[2]附帯作業の改善:米の集出荷場での積込・積卸時間:平均1.5h程度短縮(ヒアリング結果による)

#### ○課題及び今後の対応の方向性

・レンタルパレットについて、今後貸し出し数が増えるにつれ、管理者(全農物流株式会社)の管理コストの増加が懸念される。例えば、RFID付きのものを利用するなど解決方法を検討していく。

・パレットへの積付けが不慣れな生産者向けに、講習会を開催するなど積付けに関するフォローを検討していく。

・宮城県内には全10JA(今回取組した2JA含む)が存在するため、今回の取組を浸透し、全JAでの取組の協力を要請する。